

## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	オオシロ ハジメ 大城 肇 <平成25年4月>		経済学修士		学長 (平成25年4月)

教 員 の 氏 名 等													
(教育学研究科 高度教職実践専攻)													
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 数	当 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	係等に なる 職務 の 従事 する 日数 (平均)
1	専	教授	ミタ ヤスシ 道田 泰司 <平成28年4月>		文学 修士		教授・学習の課題と実践 思考・判断・表現力育成の課題と実践 言語活動と協同学習 授業づくりと指導法の高度化 組織的意思決定マネジメント 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1前 1前 1後 1後 1後 1前 1後 2通 2前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	琉球大学 教育学部 教授 (平3.10)	5日	
2	専	教授	スギオ コウジ 杉尾 幸司 <平成28年4月>		理学 修士		理数系授業づくりの理論と実践 授業づくりの理論と実践 学習指導のための教材・教具の開発と 活用 活用力としての教科外活動 授業づくりと指導法の高度化 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1後 1後 1後 1後 1前 1後 2通 2前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	琉球大学 教育学部 教授 (平18.4)	5日	
3	専	教授	タナカ ヒロシ 田中 洋 <平成28年4月>		修士 (法学)		学校改革の実践と課題 学校教育・教員のあり方の課題と実践 授業づくりと指導法の高度化 地域と学校の在り方 学校安全管理 学校マネジメント 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1前 1前 1後 1後 1後 1後 1前 1後 2通 2前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	琉球大学 教育学部 教授 (平16.4)	5日	
4	専	教授	ヨシダ アキラ 吉田 安規良 <平成28年4月>		博士 (教育学)		教育課程編成の課題と実践 指導と評価の課題と実践 授業づくりと指導法の高度化 教師の成長とメンタリング 学校と地域との連携の実践と課題 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1前 1前 1後 1後 1後 1前 1後 2通 2前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	琉球大学 教育学部 准教授 (平16.4)	5日	
5	専	教授	コバヤシ ミル 小林 稔 <平成28年4月>		教育学 修士		学校改革の実践と課題 授業分析・リフレクションの理論と実践 授業づくりと指導法の高度化 校内研究組織の実践と課題 学校と地域との連携の実践と課題 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1前 1後 1後 1後 1後 1前 1後 2通 2前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	京都教育大学 教育学部 教授 (平23.2)	5日	
①	専	教授	ウエマ ヨシザワ ヨウコ 上間 (芳澤) 陽子 <平成28年4月>		修士 (教育学)		生活指導・生徒指導の実践と課題 学校不適合への実践と課題 授業づくりと指導法の高度化 いじめ問題への対応と課題 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1前 1前 1後 1後 1前 1後 2通 2前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	琉球大学 教育学部 准教授 (平19.4)	5日	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 数	当 位 数	年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に 係する の従事 する日 数 平均
6	実専	教授	レイ ミヨキ 伊禮 三之 <平成28年4月>		修士 (教育学)		授業分析・リフレクションの理論と実践 理数系授業づくりの理論と実践 授業づくりの理論と実践 学習指導のための教材・教具の開発と活用 授業づくりと指導法の高度化 地域と学校の在り方 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1後 1後 1後 1後 1後 1後 1前 1後 1後 2通 2前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	福井大学 教育地域科学部 教授 (平19.4)	5日	
8	実専	教授	タンノ キヨヒコ 丹野 清彦 <平成28年4月>		教育学士		生活指導・生徒指導の実践と課題 学校不適応への実践と課題 授業づくりと指導法の高度化 積極的生活指導・生徒指導 いじめ問題への対応と課題 こども支援のための地域・保護者との協力関係づくり 新時代こども支援活動 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1前 1前 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	日高町立 門別小学校 学習指導員 (平26.5)	5日	
9	実専	教授	シモジ トシヒロ 下地 敏洋 <平成28年4月>		博士 (看護学)		学校改革の実践と課題 学校教育・教員のあり方の課題と実践 沖縄の学校と社会 授業づくりと指導法の高度化 学校安全管理 学校マネジメント 学校と地域との連携の実践と課題 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1前 1前 1前 1後 1後 1後 1後 1前 1前 1後 2通 2前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	沖縄県立 普天間高等学校 校長 (平26.4)	5日	
②	実専	准教授	シラオ ヒロシ 白尾 裕志 <平成28年4月>		修士 (教育学)		学級経営の実践と課題 授業づくりの理論と実践 活用力としての教科外活動 授業づくりと指導法の高度化 地域と学校の在り方 校内研究組織の実践と課題 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1前 1後 1後 1後 1後 1後 1前 1後 1後 2通 2前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	琉球大学 教育学部 准教授 (平26.4)	5日	
10	実専	准教授	クラミツ イツシ 藏満 逸司 <平成28年4月>		文学士		教授・学習の課題と実践 思考・判断・表現力育成の課題と実践 授業づくりの理論と実践 学習指導のための教材・教具の開発と活用 授業づくりと指導法の高度化 特別な支援を必要とするこどもの理解と実践 地域と学校の在り方 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1前 1前 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1前 1後 2通 2前 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	指宿市立 池田小学校 教諭 (平24.4)	5日	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 数	当 位 数	年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に 係する の従事 する日 数 平均
11	実専	准教授	ムラスエ ユウスケ 村末 勇介 <平成28年4月>		修士 (教育学)		生活指導・生徒指導の実践と課題 学級経営の実践と課題 活用力としての教科外活動 授業づくりと指導法の高度化 積極的生活指導・生徒指導 いじめ問題への対応と課題 こども支援のための地域・保護者との 協力関係づくり 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1前 1前 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1前 1前 1後 1後 2前 2前 2後 2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	鹿児島市立 伊敷台小学校 教諭 (平20.4)	5日	
12	実専	准教授	ヒガ タカシ 比嘉 俊 <平成28年4月>		修士 (教育学)		教育課程編成の課題と実践 指導と評価の課題と実践 沖縄の学校と社会 言語活動と協同学習 授業づくりと指導法の高度化 組織的意思決定マネジメント 教師の成長とメンタリング 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1前 1前 1前 1前 1後 1後 1後 1後 1後 1前 1前 1後 1後 2通 2通 2前 2前 2後 2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	宜野湾市立 宜野湾中学校 教諭 (平25.4)	5日	
13	実専	准教授	シロマ ソロ 城間 園子 <平成28年4月>		修士 (教育学)		学校不適応への実践と課題 沖縄の学校と社会 授業づくりと指導法の高度化 こども支援のための地域・保護者との 協力関係づくり 特別な支援を必要とするこどもの理解 と実践 新時代こども支援活動 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1前 1前 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1前 1前 1後 1後 2通 2通 2前 2前 2後 2後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	沖縄県立 西崎特別支援 学校 教頭 (平26.4)	5日	
③	兼担	准教授	カワカミ ハジメ 川上 一 <平成28年4月>		文学士		授業づくりと指導法の高度化 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1後 1前 1後 1後 2通 2通 2前 2前 2後 2後	2 2 4 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	琉球大学 教育学部 准教授 (平26.4)		
④	兼担	准教授	モリ チカラ 森 力 <平成28年4月>		学士 (教育学)		授業づくりと指導法の高度化 課題発見実習Ⅰ 課題発見実習Ⅱ 課題解決実習 インターン実習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	1後 1前 1後 1後 2通 2通 2前 2前 2後 2後	2 2 4 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	南風原町立 南風原小学校 教諭 (平11.4)		
16	兼担	教授	ウエチ カンジ 上地 完治 <平成28年4月>		修士 (教育学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2	2	1	琉球大学 教育学部 教授 (平15.10)	
17	兼担	教授	ヒロセ ヒロシ 廣瀬 等 <平成28年4月>		博士 (心理学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2	2	1	琉球大学 教育学部 教授 (平7.1)	
18	兼担	教授	ツジ ユウジ 辻 雄二 <平成28年4月>		教育学 修士		授業づくりと指導法の高度化	1後	2	2	1	琉球大学 教育学部 教授 (平9.4)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 数	当 位 数	年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に 係るの 従事す る週平 均日数
19	兼担	教授	ハギノ アツコ 萩野 敦子 <平成28年4月>		修士 (文学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平13.10)	
20	兼担	教授	ムラカミ ロリ 村上 呂里 <平成28年4月>		博士 (教育学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平1.4)	
21	兼担	教授	サトイ ヨウイチ 里井 洋一 <平成28年4月>		文学士		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平1.4)	
22	兼担	教授	シマブクロン 島袋 純 <平成28年4月>		博士 (政治学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平5.4)	
23	兼担	教授	タカラ クラシゲ 高良 倉茂 <平成28年4月>		経済学 修士		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (昭61.4)	
24	兼担	教授	マエヒラ フサアキ 真榮平 房昭 <平成28年4月>		修士 (文学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平26.4)	
25	兼担	教授	トクシゲ ノリヒデ 徳重 典英 <平成28年4月>		博士 (理学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平8.4)	
26	兼担	教授	イシカワ マサオ 石川 雅雄 <平成28年4月>		博士 (理学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平23.4)	
27	兼担	教授	ハバ ソウタロウ 馬場 壮太郎 <平成28年4月>		博士 (理学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平14.4)	
28	兼担	教授	マツダ シンヤ 松田 伸也 <平成28年4月>		理学 修士		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (昭57.4)	
29	兼担	教授	カネノ ヨシトモ 柄木 良友 <平成28年4月>		博士 (工学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平22.10)	
30	兼担	教授	ハットリ ヨウイチ 服部 洋一 <平成28年4月>		博士 (音楽)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平5.4)	
31	兼担	教授	モリ マユミ 森 まゆみ <平成28年4月>		芸術学士		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平25.4)	
32	兼担	教授	ナガツ テイゾウ 永津 禎三 <平成28年4月>		芸術学 修士		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (昭57.4)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 数	当 位 数	年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申 請 の 大 職 務 に 係 る の 従 事 す る 日 数 平 均	係 等 に 係 る 日 数
33	兼担	教授	コバヤシ ユタカ 小林 豊 <平成28年4月>		M.of Fine Arts (米国)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平8.4)		
34	兼担	教授	エンドウ ヒロシ 遠藤 洋志 <平成28年4月>		博士 (医学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平17.4)		
35	兼担	教授	ミワ カズヨシ 三輪 一義 <平成28年4月>		体育学 修士		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平5.4)		
36	兼担	教授	オノデラ キヨミツ 小野寺 清光 <平成28年4月>		博士 (工学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平21.4)		
37	兼担	教授	シミズ ヨウイチ 清水 洋一 <平成28年4月>		工学博士		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平2.4)		
38	兼担	教授	フクダ ヒデアキ 福田 英昭 <平成28年4月>		教育学 修士		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平1.8)		
39	兼担	教授	アサイ レイコ 浅井 玲子 <平成28年4月>		修士 (教育学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平11.10)		
40	兼担	教授	クニヨシ ササカ 國吉 真哉 <平成28年4月>		修士 (工学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平12.10)		
41	兼担	教授	オオシロ ケン 大城 賢 <平成28年4月>		修士 (教育学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (平16.4)		
42	兼担	教授	タイラ カツアキ 平良 勝明 <平成28年4月>		M.A. in English (米国)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 教授 (昭61.10)		
44	兼担	准教授	モチヅキ ミチヒロ 望月 道浩 <平成28年4月>		修士 (教育学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平18.4)		
45	兼担	准教授	ナカオ タツマ 中尾 達馬 <平成28年4月>		博士 (心理学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平22.10)		
46	兼担	准教授	ナカモト ケン 中本 謙 <平成28年4月>		博士 (学術)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平16.4)		
47	兼担	准教授	ミウラ ミナコ 三浦 美奈子 <平成28年4月>		M.A. in Linguistic s (米国)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平12.10)		

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 数	当 位 数	年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に 係る 大職 務の 従事 する 日数 平均
48	兼担	准教授	コヤシキ タクミ 小屋敷 琢己 <平成28年4月>		修士 (文化 科学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平17.4)	
49	兼担	准教授	オガタ タクユキ 尾方 隆幸 <平成28年4月>		博士 (理学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平17.4)	
50	兼担	准教授	マエムラ ヨシユキ 前村 佳幸 <平成28年4月>		博士 (歴史学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平19.4)	
51	兼担	准教授	ヤマグチ タケン 山口 剛史 <平成28年4月>		修士 (教育学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平16.4)	
52	兼担	准教授	ヤマネ キヨヒロ 山根 清宏 <平成28年4月>		博士 (社会学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平25.10)	
53	兼担	准教授	ヒノクマ タカノリ 日熊 隆則 <平成28年4月>		理学 修士		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平1.4)	
54	兼担	准教授	ヤマシロ ヤスカズ 山城 康一 <平成28年4月>		博士 (理学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平5.4)	
55	兼担	准教授	テルヤ トシアキ 照屋 俊明 <平成28年4月>		博士 (理学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平21.4)	
56	兼担	准教授	イワキリ ヒロトモ 岩切 宏友 <平成28年4月>		博士 (工学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平20.4)	
57	兼担	准教授	トミナガ アツシ 富永 篤 <平成28年4月>		博士 (人間・ 環境学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平22.4)	
58	兼担	准教授	ハマダ エイサク 濱田 栄作 <平成28年4月>		博士 (理学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平25.4)	
59	兼担	准教授	フクモト ヨウゾウ 福本 晃造 <平成28年4月>		博士 (理学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平25.10)	
60	兼担	准教授	シャイヤステ ヨウコ 柴田 葉子 <平成28年4月>		M.A. in Music (米国)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (昭63.4)	
61	兼担	准教授	サキヤマヤヨイ 崎山 弥生 <平成28年4月>		修士 (芸術)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平25.4)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 数	当 位 数	年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に 係する の従事 する日 数 平均
62	兼担	准教授	ムラタ マサキ 村田 昌己 <平成28年4月>		修士 (音楽)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平26.4)	
63	兼担	准教授	カメイ ヨウイチロウ 亀井 洋一郎 <平成28年4月>		博士 (美術)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平16.4)	
64	兼担	准教授	ヨシダ エツジ 吉田 悦治 <平成28年4月>		文学士		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平11.4)	
65	兼担	准教授	ウエムラ ユタカ 上村 豊 <平成28年4月>		修士 (美術)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平18.9)	
66	兼担	准教授	ササザワヨシアキ 笹澤 吉明 <平成28年4月>		博士 (医学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平18.4)	
67	兼担	准教授	ミヤギ マサヤ 宮城 政也 <平成28年4月>		修士 (体育学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平23.4)	
68	兼担	准教授	マツモト ユカ 松本 由香 <平成28年4月>		博士 (学術)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平25.4)	
69	兼担	准教授	タハラ ミフ 田原 美和 <平成28年4月>		修士 (教育学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平14.4)	
70	兼担	准教授	イシカワ ミナコ 石川 峰奈子 <平成28年4月>		M.A.in TESOL (米国)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平8.4)	
71	兼担	准教授	コバヤシ マサオミ 小林 正臣 <平成28年4月>		Ph.D.in English (米国)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 准教授 (平17.4)	
72	兼担	講師	ハナキ ヒロナオ 花木 宏直 <平成28年4月>		修士 (文学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 講師 (平25.4)	
73	兼担	講師	ユザワ ヒデフミ 湯澤 秀文 <平成28年4月>		教育学 修士		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 講師 (平14.4)	
74	兼担	講師	サイトウ ユキコ 齊藤 由紀子 <平成28年4月>		博士 (学術)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 講師 (平25.10)	
75	兼担	講師	オカダ エミ 岡田 恵美 <平成28年4月>		修士 (音楽学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 講師 (平24.4)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 数	当 位 数	年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に 係る 大等 職務 の 従事 する 日数 平均
76	兼担	講師	オガワ ユミ 小川 由美 <平成28年4月>		修士 (教育学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 講師 (平22.10)	
77	兼担	講師	ナカマ ノブエ 仲間 伸恵 <平成28年4月>		修士 (美術)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 講師 (平25.4)	
78	兼担	講師	エトウ マキコ 江藤 真生子 <平成28年4月>		修士 (教育学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 講師 (平15.4)	
79	兼担	講師	スナカワ リキヤ 砂川 力也 <平成28年4月>		修士 (体育 科学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 講師 (平25.4)	
80	兼担	講師	マスザワ タクヤ 増澤 拓也 <平成28年4月>		博士 (体育 科学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 講師 (平25.4)	
81	兼担	講師	オカモト マキコ 岡本 牧子 <平成28年4月>		博士 (工学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 講師 (平22.10)	
82	兼担	講師	アラカキ マナブ 新垣 学 <平成28年4月>		修士 (工学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 講師 (平10.4)	
83	兼担	講師	ミヤギ カズナ 宮城 一菜 <平成28年4月>		博士 (栄養 科学)		授業づくりと指導法の高度化	1後	2		1	琉球大学 教育学部 講師 (平24.10)	

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	修 士	人	人	2人	3人	1人	人	人	6人	
	学 士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准 教 授	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	1人	3人	人	人	人	4人	
	学 士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	修 士	人	人	3人	6人	1人	人	人	10人	
	学 士	人	人	人	2人	人	人	人	2人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	

(注)

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 4 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。